

国際学術シンポジウム AI技術革新に伴う 東アジアの法整備状況

AI技術の凄まじい発展と共に、各国の情報法整備が進められている。東アジア法に精通する研究者を招聘し、それぞれの立法情勢を確認し、今後の方向性を展望する。

開催日時等

令和4年3月27日(日) 13:00~17:00
(Zoomによる開催) 参加無料

申し込み

事前の参加登録が必要です。
以下のURL又はQRコードからお申し込みください。

<https://forms.gle/ePnPJUmu9ex5Lx3A6>



登壇者等

AI技術革新がもたらす法整備の可能性

中央大学教授

角田 篤泰

AI技術革新と高齢者のデータ「銀行」をめぐる法的模索

静岡大学教授

朱 曄

AIに関する法制化についての日本のアプローチ

西村あさひ法律事務所パートナー弁護士

福岡 真之介

中国における文書行政と情報

—管理の対象としての情報、管理のツールとしての情報

東京大学教授

高見澤 磨

台湾における個人資料の保護法制の発展と展望

台湾大学教授

陳 聡富

韓国におけるAI法整備の概観

亞洲大学校教授

尹 泰永

総合コメント

ワシントン大学准教授

Dongsheng Zang